

標 題 : Consensus document. Management of non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD). Clinical practice guideline.
合意文書 非アルコール性脂肪性肝疾患の管理 臨床実践ガイドライン

著 者 : R. Aller, et al. (スペイン バリャドリッド大学 医学部
大学病院 消化器学科)

掲 載 誌 : Gastroenterol. Hepatol. 2018 May; 41(5): 328-349

要 旨 :

非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)はスペインで肝疾患の主な原因であり、その発症は2型糖尿病および肥満の急激な増加のために増えている。

この臨床実践ガイドライン(CPG)は、主として非侵襲性のバイオマーカーによる診断、およびこの実体の臨床管理に関する勧告を提案する。

体重減少を達成するための生活様式改善が、非アルコール性脂肪性肝疾患の管理における主目標である。

低カロリーの地中海食事および200分/週の有酸素運動が奨励される。

病的肥満の無応答の患者には、肥満手術または代謝的内視鏡検査が示される。

薬物療法が、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)と繊維症の患者および体重減少手段の非応答者において示される。

非アルコール性脂肪性肝疾患は、肥大の所見、移植片活動性における繊維症の影響、OLT後の新たな非アルコール性脂肪性肝疾患の比率およびこの実体の管理を変える心臓血管系疾患リスク上昇として、肝臓移植に影響する。

現在の臨床実践ガイドライン(CPG)は、セブリアにおける第1回非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)会議の結果であった。

キーワード : 心臓血管系リスク、臨床ガイドライン、診断、繊維症、
非アルコール性脂肪性肝疾患、勧告、脂肪症、治療
